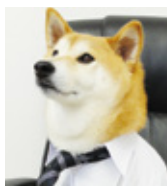


月刊オッキータイムス

Monthly Okkiy Times
2023年2月号《第147号》



ずっと住みたくなる家のリフォームなら(株)おきた

Okita Reform

長門店

おきたリフォーム

萩店

【長門店】長門市東深川 826-1
【萩店】萩市江向 428-5
《営業時間》9時～17時
《定休日》日曜祝日、2・4土曜

おきたリフォーム

検索

通話料無料



0120-710-091

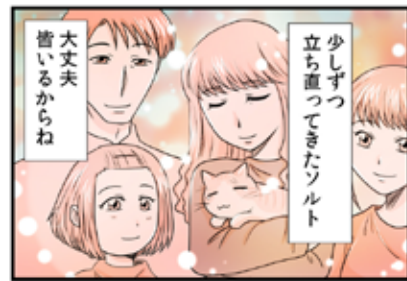
※携帯電話からは
0837-23-0123



スマホ
サイト

おきたの愉快的仲間たち

沖田社長やその家族と愛猫達のほほえましい!?
日常を描いた4コマ漫画です。
(作) 沖田 安男 (画) 文月 チコ



ウイルス感染を予防!マスク姿のおきたキャッツ

ソルト助手

テテ係長

小町主任

バイト・ボン

バイト・ボコ

バイト見習い
ラッキー

寒い日が続きますが、おきたは元気に営業中!ぜひご相談ください。

今年は新型コロナだけでなくインフルエンザも流行しているようですが、くれぐれもお気を付けください。おきたキャッツもマスク着用でお仕事がんばってます(笑)花粉の飛散も今年が多いみたいなのでマスクはまだまだ手放せない人が多いかも知れませんね。

さて、物価高騰のなか、各種リフォームに対する補助事業も始まっております。ぜひお気軽におきたリフォームにお問い合わせください。

今月の“癒やしの一枚”



小町主任(左)とソルト助手(右)が抱き合っている姿です。何とも愛くるしく見てると癒やされます。

珍答!クイズコーナー No.7 【問題】Aさんは300円を持って出かけ、170円の買い物をしました。お釣りはいくらでしょう?

オッキー★トリビア

ネコたちやスタッフに関するクイズを出題!ぜひお考えください!

この問題であなたが文系脳か理系脳かが分かると言われています。直感でお考え下さい。



おきた社員の「問一答」 毎回、ある質問に答えてもらうコーナー。お客様に何故かご好評みたいです(笑)

テーマ 2月の行事と聞いて思い浮かぶものは何? また、そのエピソードや思うことなどは?



むらなか
カラオケが好き。

「誕生月」早生まれなので説明が毎回面倒。だけど、同じ学年の中では若いのでちよっぴり嬉しい。



まつなが
洗車が好き。

「節分」子供の頃は豆まきだけで終わってましたが、今では恵方巻きを食べるのがメインになりました。



すえども
野球観戦が好き。

「富士山の日」日本一高い山なので見るだけでなく、やっぱり一度は登ってみたい。



もとなが
焼飯作りが好き。

「節分」私が鬼の役で玄関から入って行くのですが、最近、やけに豆が痛いです。



しのはら
魚釣りが好き。

「節分」大豆を歳の数だけ食べる風習ですが、毎年増える多さにうんざり。近年は大粒の豆は1粒を10歳分にカウントしています。



よこや
ゴルフが好き。

「バレンタインデー」昨今の義理チョコや世話チョコの影響で3月が忙しくなりました。



はらだ
旅行が好き。

「お雛様飾り」いつも早く飾らないと焦ってました。でも一旦飾るとなかなか片付けられません。



すぎさわ
ライブ・映画が好き。

「節分」絵本作家の長谷川義史さんのイベントで、子どもと一緒に鬼のお面を作った事を思い出します。



おきた
お祭りが好き。

「バレンタインデー」中学生の時に初めて女の子がチョコを手渡すイベントを知りドキドキしていたのですが、結局もらえなかった切ない日でした。



動物が好きで人と苦手な人の違いって何でしょう?

オッキーこと 社長歳時記

(株)おきた 代表取締役社長 沖田 安男
水道工事会社の創業者である父から事業を引き継ぎ、家の総合リフォーム会社へと展開し 2018年10月に本社を油谷から長門市中心部へ、萩店も2021年4月に市役所隣に移転。孫と猫をこよなく愛する。

「動物、好き?嫌い?」

昨年末に帰省した息子から、犬を飼い始めたと言きビックリしました。普通なら驚く話でもないのですが、息子は幼少期から動物が苦手でした。我が家に柴犬のベックが来た時は高校生でしたが、その頃でも触るところか、目を合わせるのも無理だと言っていた程の動物嫌いだったのです。その苦手意識は大人になっても変わっていませんでした。仕事先で訪問した家の玄関ドアを開けると廊下にいる犬が近づいて来ただけですが、息子は一目散に外に飛び出し、乗って来たトラックの屋根に飛び上がったそうです。それを見た家の人は犬を離していた事に恐縮されたのですが、まさか体格のいい青年がそこまで驚くとは思わなかったそうです。チワワですからね。また私の父も動物が苦手でした。初めて子犬のベックを見て「こりゃ大きい」と驚くので「何が?」と聞き返すと「そっかと思った」と10cm程度の犬のぬいぐるみを指差した程です。いや本物の犬も十分小さいですけどね。そんな男性陣に対して女性陣は真逆です。娘と孫はいつもベックと一緒に寝たり、泥で汚れた野良猫でも平気で抱っこしたりと動物が大好きです。そして私の母にいたってはベックと遊んだ後、娘に「その手どうしたの?」と聞かれ、手から血を流しながら「まあベックの甘噛みい〜ね」と笑っているほどの動物好きでした。でも、これ甘噛みと言えますかね。こんな風に動物の好き嫌いの違いは幼い頃の体験や性格、環境、遺伝子までも関係しているらしいのですが三十才後半で突然、動物好きになるというのは何でしょう。しかも、いきなりフレンチブルドッグを2頭って。